

ポカポカのあったか気持ちが育っています！

ムーミンハウスの周りには、「ナラ・クヌギ・ブナ・もみじ・しい・白樺」などの落葉樹が子どもの目線で見た「森」のように木々に囲まれています。



春はみずみずしい爽やかな若葉色で生き生きさを教えてくれます。夏は暑い陽射しを木々の葉で防いで気持ちの良い木陰をつくってくれます。秋は色鮮やかな黄色や赤色で子どもたちの心に豊かな感性を感じさせてくれることと、色や形の違うドングリやシイの実などを実らせてくれて、子どもたちの造形活動の教材としてプレゼントしてくれます。そして今、晩秋を迎えた「森の木々」も冬支度に向かうたくさんの落ち葉が茶色のジュウタンのように敷き詰められ、「カサコソ！」と落ち葉を踏む音に子どもたちの心が穏やかで優しい気持ちを育ててくれます。

これから冷たい北風の中、気持ちがうつむきになりがちですが、子ども達の心はポカポカと温かに育っていますので、ご家庭でも「温かな言葉とていねいな励ましの応援」で、にこにこ笑顔の毎日をお過ごしください。(インフルエンザ予防に気をつけていきましょう！)

「視察見学のお客様」が続いています。

12月に入っても相変わらず各地よりのお客様が来ています。(たくさんの感想の一部です。)『茨城県の保育園さん「きめ細やかに子どもを大切にされた保育に感銘を受けました。子どもが学びたくなる・やってみたくなる環境設定、教え込まなくても自然と学んでいける環境への配慮が行き届いて大変勉強になりました。短時間でなく、長時間この木のぬくもりのある自然を大切にされたこの保育環境に身をおいて、しっかり学び、子どもの様子をじっくり見ていきたいと思いました。』



ベネッセさん「建物から保育内容まで一貫したコンセプトで統一した実践は、これからの保育の未来を見たように感じます。また是非勉強と体感をさせていただきたいです。」

親心を育む会さん「コーナー別保育・季節ごとの遊び・異年齢保育の良さ…。遊んでいるお子さん達の様子が、園全体の穏やかさや、温かさを全体で感じ取った一日でした。」「先生方の手作りのものや声掛け、声の大きさ、気配り…大変な努力をされてこの雰囲気を作られていると思いました。一番驚いたのは食事の時の静かさと、一回も「早く」や「～して」という先生の声が聞けなかったことです。

“させる保育”ではなく“してみたくなる保育”という言葉に深く感動しました。」「園内にある様々なものが「本物である」という事がとても印象に残りました。子どもをいかに信頼し、好きな事を見つけてもらい、自主的な活動をしてもらうかという観点で役立たせていきたいと思えます。」「温かくゆったりした時間と空間で、おだやかに過ごす園児と先生方のやり方を拝見して、親子のアタッチメントのようなものを感じました。時間をかけてていねいに人に接することの大切さを毎日の生活の中で実践されていることに脱帽しました。』」等々です。15日(月)は横須賀市の来園です。

これからも子ども中心の保育で、国やこれからのモデル園を目指し保育者一同励んでいきますので、応援をよろしくお願いいたします。